

1 現庁舎の課題

耐震性の確保

災害時の官庁施設に求められる厳しい耐震基準をクリアすることが必要

老朽化の改善

建物の老朽化により、雨漏り、外壁の破損等の不具合が生じており、執務をする上でも支障をきたしているため改善することが必要



北庁舎の外壁の破損



執務スペースの雨漏り

狭あい化の解消

窓口業務や執務スペース、会議室及び倉庫等について、狭あい化（狭さ）の解消を図ることが必要

利便性の向上

子育て世代や高齢者を含めた、あらゆる世代に対応できるよう、バリアフリー対策や窓口におけるプライバシーへの配慮等の空間整備、十分な広さをもつ駐車場の確保等を行うことが必要

安全性の確保

災害対策等、さまざまな状況に対応した防災拠点としての役割として、安全性を確保することが必要

設備環境の充実

地球環境に配慮した省エネ対策や情報技術の向上に対応することが必要

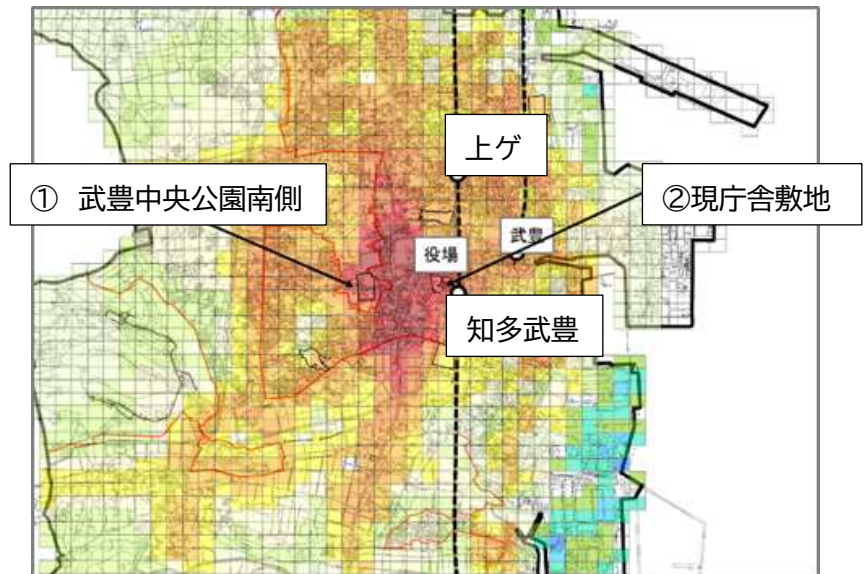
立地環境の充実

自家用車での庁舎へのアクセス性を確保することが必要

2 適地の選定

災害想定や人口重心、幹線道路やICからのアクセス等から庁舎の建設候補敷地として可能性のある場所を2か所選定しました。○赤色ほど適している

- ①武豊中央公園南側
- ②現庁舎敷地



3 総合評価

庁舎整備において重要と考えられる機能面、経済性等の視点から検討した結果、「武豊中央公園南側に移転、新築」が総合的に優れていると評価しました。

【武豊中央公園南/新築】案

評価

【機能的視点】

- ・敷地規模の制約を受けず、ゆとりある空間の計画が可能

【防災的視点】

- ・消防署、防災機能を有する武豊中央公園と一体となった防災拠点の形成が可能

【施工的視点】

- ・解体工事や仮庁舎整備工事等を含まないことから最も事業期間が短い

【経済的視点】

- ・仮庁舎整備工事が不要



▲現時点でのイメージ図

※詳細については、今後検討を進めるため、配置等は変更する場合があります。

4 今後の検討の進め方

【まちづくりの方向性との整合】

まちづくりの観点から求められる庁舎の役割を整理し、武豊らしさを表現した役場庁舎となるよう検討します。

【町民参加による検討体制】

さまざまな方法による町民意向の収集等、計画を進めていく中で多様な検討体制を確立し、だれもが利用しやすく愛着のもてる庁舎を実現できるだけでなく、多様な交流を育む場として、庁舎が活発に利用されることを目指します。